（主な意見・質問）

（1）第1回・第2回地区協議会の内容について

（意見）双岩地区の子供たちが朝スクールバスに乗って、八幡浜南小学校に到着した時に、道路左側にバスが停車し子供たちを降ろすことになると思う。子供たちは点滅信号を渡って学校に行くことになると思うが、交通量も多いので安全が確保できるか心配である。

（答）神山小学校前の県道は非常に交通量も多く、特に朝、夕は渋滞することもあるので、旧神山幼稚園の園庭をロータリーに改修して、八幡浜南小学校の校内でバスの乗り降りができるように考えている。

（問）33人乗りのスクールバスを購入するということが、川上地区と双岩地区のどちらに使用するのか。

（答）33人乗りのスクールバスを2台購入するので、双岩小学校と川上小学校のそれぞれにスクールバスを配置する。

（問）小型車を購入することはないのか。

（答）バスの運転手不足もあるので、33人乗りのスクールバスとした。川上地区からも小型車で奥の方まで迎えに来てほしいという意見もあったが、委員の中には、家の前まで迎えに来るのではなく、特定の場所でみんなが集合する方が教育的にも良いのではないかという意見もあった。

（問）そのスクールバスには、布喜川地区の児童も乗れるのか。

（答）布喜川地区と横平地区は路線バスの利用となる。

（問）大型バスであれば、双岩地区では乗降場所が限られてくるのではないか。

（答）ある程度広い場所が必要となるので、安全に乗降できる場所を学校と相談しながら決めていきたい。

（問）購入したスクールバスは、令和8年度に統合する八幡浜高校も利用するのか。

（答）八幡浜高校は、独自でバスを用意すると思う。市が購入したバスは、高校生は利用しない。

（問）小学校でも帰りの時間帯が違うと思うが、どう対応するのか。

（答）下校時の配車については、学校が毎月の配車計画を作成し、市教委に提出されるので、それに合わせて、スクールバスを2便から3便程度を配車する予定である。

（問）33人乗りのバスを購入するということが、現在使用している中学校のバスはどうするのか。

（答）今回購入するバスは小学校用のスクールバスであるため、現在使用中の中学校のスクールバスも継続して使用する。

(問) 公民館行事等で子供たちを輸送するために、スクールバスを使用したいと市教委に依頼したことがあるが、スクールバスは国の補助を受けて購入しているため、難しいと断られたことがある。もう少し利用しやすいようにできないか。

(答) スクールバスを購入するのに各種制度を利用して、国の補助を受けながら購入しているため、使用制限が課せられている。ただ、学校行事等で使用する場合は年 3 回使用できるようにしている。

(意見) 33 人乗りのスクールバスを使用することだが、新 1 年生の子供も乗車するので、送迎中に何が起こるか心配である。運転手だけでは、トラブルが起きた時に対応できないと思うので、サポートスタッフを一人付けてほしい。また、統合により、関係する公民館も複数となるので、公民館同士の連携のためのコーディネーターも設置してほしい。

(答) 現在、宮内小学校と神山小学校には教員の数が足りていない状況である。県下全域でもそういう状況である。八幡浜中学校新設のための加配教員を要望したところ当初は難しいと言われたが、2 月になってなんとか 1 名余分に教員を配置できた。来年度も可能な限り八幡浜南小学校新設のための加配はつけたいと考えている。また、スクールバスに乗車する子供たちへのサポートと、各地区公民館同士のつながりのための地域コーディネーターなどについては、今後検討したい。

(問) 以前、新しい学校での運動会に保護者が参観する場合、双岩地区や川上地区は車で来る家庭が多いと思うので、駐車場の問題はないのかとの質問をしたことがあると思うが、先ほどのスクールバスを利用して、保護者を送迎できれば、少しは駐車場問題も解消できるのではないか。

(答) 先ほど回答したとおり、制限があるため利用できるとは言えないが、国や県に確認しながら対応していきたいと思う。また、王子の森公園も、以前と比べて少しずつではあるが、駐車場の台数を確保している。公園の管理は建設課になるので、他の行事と重なってなければ、駐車場を利用できると思う。

(問) 双岩地区の児童クラブの存続はどうなるのか。

(答) 子育て支援課は、双岩地区と川上地区ともに児童クラブの継続を考えている。ただ、保護者の中には、仕事の関係で神山児童クラブに子供を預ける人もいるのではないかと思う。

(問) 33 人乗りのスクールバスは、J R 双岩駅駐車場に入れるのか。

(意見) 中学校のスクールバスは、午前 7 時 20 分くらいに J R 双岩駅駐車場に入ってくるが、別の人たちが送迎のためなのか沢山の車が一時駐車しているので、その時間帯は混雑している。

(意見) 例えば、ふれあいパーク前を乗降場所にしてはどうか。

(答) 双岩地区のスクールバスの乗降場所については、学校と協議しながら、安全な場所を選定していきたいと思う。

(問) 33 人乗りのスクールバスは、市のラッピングバスくらいの大きさか。

(答) スクールバスの長さは 7m70 c m 程度で、市のラッピングバスよりは小さい。

(意見) 学校の跡地利用については、地元からいろいろな意見が出てくると思うが、事前に教育委員会としては、この活用は難しいということを伝えてほしい。

(答) 学校の跡地利用について地域の意見を聞くことはできるが、利用目的によって所管が変わるため、活用できるかできないかは即答できない。

(問) 例えば、宿泊施設を作る場合は、所管は教育委員会以外となるのか。また、業者も介入することが可能なのか。

(答) 旧舌田小学校のマンダリン施設に関しては、主としてみかんアルバイトの宿泊施設として利用するため、農林課と協議し、国の補助を受けながら建物を改修した経緯がある。管理・運営は、農協が行っている。また、旧愛宕中学校と旧松柏中学校の跡地利用については、市長部局で跡地利用検討委員会を設置し、南海トラフ地震の防災施設としての機能や企業誘致、あるいは公民館施設や老人施設の新設等の計画を進めているところである。小学校跡地についても同様に跡地利用検討委員会の中で、地元からの要望も聞きながら進めていくものと考えている。

(問) そういうことであれば、小学校の跡地利用はまだまだ先になるということか。

(答) 閉校した愛宕中学校も松柏中学校も学校備品が沢山あるので、他の学校に移設する必要がある。特にエアコンは、足りていない学校もあるので、移設しているところである。閉校したからすぐに学校を使えるというものではない。

(問) 跡地利用については、基本的には営利目的で活用することはできないということか。

(答) 旧愛宕中学校の跡地利用の一つに企業誘致が検討されているので、営利目的での活用ができないということではない。

(問) 小学校のグラウンドを若山地区で利用したい場合は、教育委員会に申請すれば借りることができるのか。

(答) 跡地利用が決まるまでは、教育委員会が所管となるので、申請すれば利用可能である。

(問) 3つの小学校が統合した後、地域と子供たちとの繋がりが少なくなると思うので、例えば、遠足の時に、川上地区や双岩地区に行き、地域探訪ができれば良いと思うが、そのような機会を作ることは可能か。

(答) 統合前の八代中学校では、少年の日に2年生がメロディーラインウォークを行っていたが、双岩地区まで歩いたり、真穴地区や川上地区を歩いたりする行事に変更した。保内中学校でも青石中学校と統合したので、日土地区や宮内地区、川之石地区を歩いたりしている。小学校でもそのようなことは可能だと思う。